



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)8月25日号 No.1834

目次

■ 限界を迎えたベラルーシのルカシェンコノミクス	服部倫卓 1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 13
■ 統計速報	25
2020年上半期のロシア経済と鉱工業生産 / 25	
2020年1～7月のロシアの乗用車販売動向 / 30	
■ 『ロシアNIS調査月報』2020年9-10月号のご紹介	31
■ エトセラ	32
バーチャル展示会「Beauty Fair Japan」開催のご案内 / 32	
「ウズベキスタン化学産業ウェビナー」開催のご案内 / 32	
「ロシア・カスピ海産油国石油産業へのコロナ禍の影響」のご案内 / 32	
日露クリエイティブ経済フォーラム開催のご案内 / 32	
■ トピックス	33
日立建機、カザフスタンに修理センター設立 / 33	
JCB、ウズベキスタンで加盟店拡大へ / 33	
「中央アジア+日本」対話・外相会合開催 / 33	
ナザルバエフの孫、死亡 / 33	
ロシア人エンジニア向けオンラインスクール開校 / 33	
Viber Media、ベラルーシ事務所閉鎖 / 34	
トルコで大規模ガス田閉鎖 / 34	
JAL、東京～モスクワ臨時便運航予定 / 34	
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース / 34	

限界を迎えたベラルーシのルカシェンコノミクス

ロシアNIS経済研究所 所長

服部 倫卓

はじめに

8月9日に投票が行われたベラルーシ大統領選挙は、中央選管の発表した最終結果によれば、現職のA.ルカシェンコ大統領が80.1%を得票し、野党統一候補という位置付けだったS.チハノフスカ候補らの挑戦を退けて、6選を果たしたということになっている。

ベラルーシの大統領選挙では、以前から当局による不正が指摘され、過去の選挙後にも民主派と治安維持部隊の衝突が起きたことはあった。しかし、今回は不正がかつてない規模に上ったと見られることから、多くの国民が選挙結果を認めずルカシェンコに退陣を求める示威行動に参加した。そして、当局がそれを容赦なく弾圧したことへの反発から、反ルカシェンコ運動は全国的な様相を呈